シルバー松山

夏季号　No.103号

発　行　公益社団法人
松山市シルバー人材センター
所在地　〒790-0808
愛媛県松山市若草町8-3
ＴＥＬ　(089) 933-7373
ＦＡＸ　(089) 933-0131
ＵＲＬ　http://m-silver.sakura.ne.jp
Eメール　matuyamasc@sjc.ne.jp



もくじ

表紙　1
令和3年度定時総会を開催　2
〈特集〉
東日本大震災から10年、現状と課題②　3
陸前高田市シルバー人材センター
大槌町シルバー人材センター
新型コロナウイルス感染予防・防止対策　5
理事会の動き　6
現場訪問記　7
女性会員だより　8
わたしの仕事⑩／鳥散歩　9
健康コラム／健康ライフ　10
ぶらり松山散歩　11
～国道196号 潮見地区～
こちら事務局　12
おくやみ／編集後記

会員数
（令和3年6月末現在）
1980名

令和３年度 松山市シルバー人材センター

定時総会を開催

令和３年度定時総会を６月14日（月）に松山市ハーモニープラザで開催しました。

昨年度に続き、定時総会につきましては、新型コロナウイルスの感染症防止対策の観点から、会員の健康と安全を第一に考え、大人数が一堂に会することを避けるため、委任状提出による開催としました。

正会員及び特別会員総数２０３９名の内、出席者11名、委任状提出者１６４８名、合計１６５９名となり、出席者数が過半数に達し定時総会は成立しました。

はじめに岡副理事長が開会を宣言し、大塚理事長が議長に選任され、議事審議に移りました。



議事審議

第１号議案「令和２年度事業報告」及び第２号議案「令和２年度収支決算」について西山常務理事が説明し、西本監事より監査報告が行われ、承認されました。

続いて、第３号議案「定款の一部変更について」西山常務理事が説明し、承認されました。第４号議案「理事２名の選任」及び第５号議案「監事１名の選任」について、北福理事・監事候補者選考委員会委員長より全会一致で推薦することについて説明が行われ、承認されました。

最後に、第１号報告「令和３年度事業計画及び収支予算について」西山常務理事が報告を行った後、北福副理事長が閉会宣言をしました。

なお、令和３年度功労者表彰の選考については、表彰規程第６条に基づき正会員６名、職員２名を選考しております。

表彰については、改めて機会を設けます。

令和３年度功労者表彰被表彰者は次のとおりです。

《正会員》

岡山　美保
青野　武敏
小松　貴代美
佐野　ハツ子
河野　尚典
松田　眞吾

《職　員》

玉井　禎子（勤続30年）
石原　広美（勤続25年）

就任挨拶



監事　中野　眞一

監事の主な職務は「業務監査及び会計監査」とされています。微力ではありますが、今までの経験を生かし、会員目線と税理士目線の両方で、シルバー人材センターの発展のために貢献できればと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

退任挨拶



監事　西本　守

お陰様で、任期を無事全うすることができました。お力添えをいただきました皆様に心より感謝申し上げます。

皆様のご健勝と、当センターが地域社会の支え手として、益々、発展することを願っています。

東日本大震災から10年、現状と課題②

陸前高田市シルバー人材センター

常務理事兼事務局長　佐々木　正博

あの時、大津波が見るうちに市街地を飲み込んでいく光景を目の当たりにし、到底この世の出来事とは思えませんでした。津波が防潮堤を越え市街地に入ると巨大なブルドーザーと化し、その先端はなぎ倒した大量の瓦礫で、土煙を巻き上げながら押し寄せてきました。呆然と立ち尽くしていると、電柱の高さより高い場所にあった事務所も家や車などの漂流物と共に津波が押し寄せ、事務所にいた職員は崖を這い上がって間一髪難を逃れました。しかし、その時刻に市街地で働いていた会員48名と用務で外出していた職員2名には、それから二度と会えないことになってしまいました。

避難所から通って、瓦礫の撤去、泥出し作業、行方不明者の安否確認が延々と続きました。その時は、正直なところ事務を整理してシルバーの事業もこれで終わりかなと思いました。そんな折、励まされたのが貴センターを始めとする全国からの物心両面でのご支援で、それから気持ちは事業再建に向け、前向きに変わって行きました。

復興事業の進捗と共に、仕事の依頼は順調に増えましたが、多くの会員が現役時代の会社に呼び戻されたことにより会員確保にはしばらくは苦戦しました。今は復興事業も概ね終わり、インフラは整備され、被災した住民も終の棲家に移り住み、新たな生活が始まっています。会員もここ数年増加に転じ、女性へのアプローチを強化した結果、去年には男性と女性の会員数が逆転し、女性会員の方が多くなりセンターに活気が戻って来ました。

私たちの街は、一次産業が基幹産業で、企業が少ないのが特徴です。このことから、センターの役割として、介護、子育て、環境美化の事業に力を入れ、あわせて市民の方々が参加できる各種行事にも力を入れて取り組んでいます。

現在の課題は、街全体がそうであるように、シルバーにおいても震災で失った繋がり＝希薄になったコミュニティを取り戻すことです。コロナ禍において、中々交流の機会を持てない状況にはありますが、事業をより前に進めるためにも「自主・自立・共働・共助」の基本理念を実行にし、「急がば回れ」で原理原則に基づいた事業運営を進めています。

末筆ながら、改めて皆様からのご支援に感謝申し上げますとともに、貴センターの益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



高田松原津波復興祈念公園



陸前高田市 SC　会員の皆さん



事務局職員の皆さん

大槌町シルバー人材センター

理事　山﨑　衛

陸中海岸のほぼ中央部に位置し、人口１５２００人余り、戸数６５００戸の漁業中心の静かな町でありました大槌町は、10年前３月11日、あの忌まわしい未曾有の大震災により死者・行方不明者は１３００名余りを数え、中心市街地のほとんどが流出し瓦礫の山と化してしまいました。

当センターも事務所は全壊、多くの会員も亡くなり、事業の継続は無理かなと途方に暮れている中、全国の仲間の皆様から「シルバーの灯を消さないで、灯し続けろ」。との力強い励ましと温かいご支援をいただき、仮設事務所を開設して事業を再開することができました。

町の復興状況は、防波堤などの災害対策、交通網の整備、市街区画の再編成、公営住宅建設など復旧・復興事業は、ほぼ完成が見えてきましたものの10年の月日は長く、多くの町民が他市町村へ転出するなど、当センター事業の受注減、会員減などに大きな影響を及ぼしております（現在人口１１２８１人、世帯数５２９０世帯）。

今もって事務所も仮設のままですが、公共施設への入居交渉を進めながら、公共事業、民間事業所の受注拡大や農作業補助作業の開拓、空き家管理、ワンコインサービス事業への対応などを推進し、新規会員の確保にも取り組んでおります。「自主・自立・共同・共助」の理念のもとに、適正で安全な就業と健康で生きがいのある充実した生活が享受でき地域社会に貢献できるシルバー人材センターとなるよう、会員１１０名が一丸となって努めなければと考えております。

これまでの松山シルバー人材センターの皆様の温かいご指導・ご支援に対し改めて感謝の意を表しますとともに、今後とも会員１１０名が一丸となってお願い申し上げ、近況報告といたします。

コロナ禍の中ではありますが、お互いに健康で明るく過ごせますよう頑張りましょう。



大槌湾を望む



整備が進んでいる漁港



市街地の様子

新型コロナウイルス感染予防・防止対策の徹底

県内においては、３月下旬、松山市中心部の繁華街で発生した変異株クラスターにより、感染者数が過去最多を更新し、４月から５月にかけて県独自警戒レベルを感染対策を最優先とする「感染対策期」に引き上げるとともに、国の「まん延防止等重点措置」の適用を受け、感染拡大防止に努めてきました。

５月下旬以降は、感染者数は減少に転じ警戒レベルも「感染警戒期（特別警戒期間）」から「感染警戒期」に引き下げられ、高齢者へのワクチン接種も７月までに完了する予定となっています。

しかしながら、感染力の強い変異株への警戒が必要であることや、７月の東京オリンピック・パラリンピック開催、お盆の帰省を控え、再び人の移動が活発となり第５波の感染拡大も想定されます。

会員の皆様には、気を緩めることなく、国や県の要請事項等を守っていただくとともに、引き続き感染回避行動の徹底をお願い申し上げます。

感染警戒期４つのポイント

①感染回避の継続徹底（感染防止の基本）
②体調異変時は休んで受診（職場・学校への感染拡大阻止）
③まん延防止等重点措置地域等との往来自粛（変異株持ち込み対策）
④当面はルールを守った会食実施（飲食店・会食クラスターの阻止）

＜要請＞
○まん延防止等重点措置地域等との不要不急の出張や往来の自粛（特措法第 24 条 9 項）
　➢まん延防止等重点措置地域等（緊急事態宣言地域を含む）との出張・往来は引き続き自粛
○その他地域への往来、出張は細心の注意を！（協力依頼）

＜協力依頼＞
○会食の注意【当面継続】
　➢会食は２０人以下で、長時間を避ける。
　※当面の間。感染状況を踏まえ、段階的に緩和
　➢感染リスクの高い行動のない人と
　➢不特定多数が集まる会食パーティーや、飲食店でのイベント等は開催しない、参加しない
➢感染回避行動の徹底【継続】
➢温泉やスポーツジム等の名称に関わらず、入浴設備等を備える施設を利用する場合は、混雑を避け、十分に注意して利用【継続】
➢感染リスクが高まる「５つの場面」に十分注意【継続】
　※「５つの場面」
　　①飲酒を伴う懇親会等　　②大人数や長時間に及ぶ飲食　③マスクなしでの会話
　　④狭い空間での共同生活　⑤居場所の切り替わり

上記事項は、６月 22 日に発信された愛媛県からの要請事項です。今後、感染の拡大状況に応じて警戒レベル、要請内容が変更となる場合がございます。随時、国、愛媛県の情報を確認いただき、要請に従って行動してください。

理事会の動き

令和３年度第１回理事会を開催。新型コロナウイルスの感染等に伴い５月26日開催予定の第１回理事会を定款第39条の規定に基づき決議の省略により書面で開催しました。

●議案審議

各議案の内容は次の通り。

◇第１号議案
「令和２年度事業報告及び収支決算について」

定款に基づいて策定した書類について説明を行い、定時総会へ提出することを承認した。

◇第２号議案
「令和３年度収支補正予算(案)について」

定款に基づいて承認した。

◇第３号議案
「令和３年度定時総会の開催方法について」

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会員に議決権の代理行使を求め定時総会を開催することを提案し承認した。

◇第４号議案
「令和３年度定時総会に付議すべき議案について」

定款に基づいて承認した。

◇第５号議案
「正会員の入会の在り方等検討委員会の設置期間延長について」

令和元年12月理事会において、「正会員の入会の在り方等検討委員会」設置要綱が決議され、令和３年３月末までの期限付きの委員会として開設したが、令和３年度に入り、当初予定していなかった事案や課題解決が必要となったため、委員会設置期間及び委員・オブザーバーの任期を令和４年３月末まで延長すること、また新任の委員とオブザーバーについて承認した。

◇第６号議案
「女性会員活動活性化委員会設置要綱の改正について」

本委員会活動の中で実施している「生きがい就労」をテーマにした取り組みを、今後より一層拡充するため、新たに「生きがい就労」グループを追加することに伴う要綱の一部改正について承認した。

●報告事項

担当理事報告、事務局報告として、理事長の入会承認を受けた会員数について報告した。

就業相談会のご案内

新型コロナウイルス感染拡大の影響で休止していました就業相談会を７月より再開します。

相談会は、シルバー事業に関すること、求人紹介、就業に関する希望を伺うなど、個別のニーズに沿った就業を支援することを目的としています。

入会直後の方、未就業の会員の方は、積極的に参加してください。

□開催日
毎月第２・第４水曜日

□相談時間
お一人30分程度

□申込方法
予約制(お電話でお申込みください)。

□申込先
松山実施事務所
ＴＥＬ　９３３－６９１１

《8月～10月の開催日》

開催月	開 催 日
8月	25日
9月	8日・22日
10月	13日・27日

現場訪問記

資材メンテナンス業務の現場を訪ねて

岩田　寛数さん（66歳）

今回は、松山市南梅本町にある関西仮設松山営業所・機材センターに勤めている岩田寛数さんを訪ねました。

昨年の11月から、シルバーの派遣スタッフとして、毎週火・木・土の週3日午前8時半～午後5時まで、足場資材のメンテナンスを担当しています。

営業所に入って直ぐにある作業場が、岩田さんと同僚二人の〈陣地〉です。工事現場で長く役割を果たし、返却されてきたポールやパイプ、ジョイントなどの部品を、点検、補修し、次の〈出陣〉に備えます。



足場に使う資材の種類、サイズは多く内部の混乱を避け、作業の流れを速やかにするため、種類別に2分して、担当の二人が責任を持って受け持ち、作業に当たっています。



まず、籠に納められた金具を一点一点取り出し、「歪み」や「ねじれ」「きず」の有無、ネジの締まり具合、ジョイントの状態などの点検を着々と進めます。汚れや錆びの除去、補強や部品交換などを速やかに丁寧にこなし、最後に洗浄・注油をして種類別の布袋に収納、ここまでがワンステップです。

「山がまた一つ」―と。重量約30㌔の部品の入った白い布袋を積み上げています。止め金具は4種類あり、それぞれの袋に30個ずつ詰め、袋ごと指定場所にまとめます。

岩田さんが心に刻んでいる言葉は、「工事現場の安全」です。「建材それぞれの強度チェックが一番‼」と、力強い言葉。洗浄され、積み上げられた資材は、ピカピカに磨かれていました。

同社の広大な敷地には、資材1500個を収納した鉄製の網かご、土木用の角パイプ、建築用の丸パイプ、踏み板（通り道）などが整然と、うず高く積み上げられ、規模の大きさを示しています。

岩田さんは現役時代、43年にわたり、ブログレード、ダンボール、石油の配送に携わり、危険物取扱者（甲種）、フォークリフト技能者として活躍されました。



昨年はコロナ禍で仕事が減り、「無性に働きたかった。今は、体力的にはきついが、職場の人間関係も良く働きやすく、楽しい職場です。やってきて良かった」と、笑顔で話してくれました。

（晴）

女性会員だより



総会を終え、令和３年度の活動が始まりました。

女性会員の会の活動は女性会員活動活性化委員会（略称・女性委員会）を中心に進められますが、今年度は委員の改選期でもあり、左表のとおりの新たな陣容でスタートします。

新たな動き

今期の女性委員会の活動において二つの大きな動きがありました。

令和3年度女性委員会役員　（任期2年）　◎班長	
委員長	赤尾　眞由美
副委員長	矢野　美恵子
福祉サービス班	◎赤松　邦恵　　福山　みどり
生活サポート班	◎一色　満里子　礒﨑　一栄
オフィスワーク班	◎矢野　美恵子　田中　伸子
パソコン班	◎上田　君枝　　乗松　幸子
生きがい就労班	◎土居　園江　　御堂　正江
外部委員	今村　紀美　（えひめリビング新聞社）
	村本　実紀　（松山市市民生活課）
センター委員	西山常務理事　　吹野営業担当理事
事務局担当	矢野事務局次長　　加藤総務課主任

一つは「文化伝承班」の一時休止。これまでものづくりを中心に毎月地道な活動を続けてきましたが、残念ですがお世話役の名乗りがあるまで活動を中止します。

二つには、会員の高齢化が進む中で高齢となっても無理なくしかも社会貢献につながる活動として、「生きがい就労」という新たな仕事のジャンルを創り出すために、「生きがい就労班」の設置を決めました。

ここではシルバーサロン清水町、おたすけ隊、得意バンクの三つの事業を検討推進する活動を行います。

各班とも積極的な活動を予定

福祉サービス班、生活サポート班、オフィスワーク班、パソコン班の四つの班はそれぞれ事業計画にそって活動を進めます。詳しくは「女性会員ニュース」をご覧ください。

女性会員の会では、人生一〇〇年時代の新たな高齢者像をめざして、活動を進めたいと考えています。社会参加・社会参画はフレイル（衰弱）予防に欠かせなくなっています。班活動に積極的にご参加ください。

生きがい就労活動

…シルバーサロン清水町

６月８日、２カ月ぶりに活動再開。

連日各教室では熱心な活動が始まっています。オカリナ、絵手紙、押し絵、折り紙、生け花、姫てまり、リメイク、陶芸の８教室のほかに、麻雀倶楽部、折り紙入門、老楽倶楽部、俳句倶楽部、スマホ相談室などの倶楽部活動に加え、健康音楽体操や写仏、デッサンなどの活動も始まっています。あなたの生きがいづくりのメニューに新たな習い事や健康づくりを加えてはいかがでしょうか。サロンでは毎月最終土曜日にミニミニフリマを実施。会員ならどなたでも出品可能。



出来上がりが楽しみ（陶芸教室）

…得意バンクから新たな仕事づくり

会員の特技や得意、好きなことを活かした活動や仕事づくりを進めています。例えば有償ボランティア活動につなげたり、イベントや教室活動の実施を通じて「生きがい」や「社会貢献」を実感してもらう。シルバー人材センターが「生きがいセンター」にもなることをめざします。

この活動にもぜひご参加を。

わたしの仕事 ⑩

《米穀店》

松山市永代町
菅能　義明さん（80）



懐かしさと、親しみを込めて「おこめやさん」という。たまに厳めしく「べいこくてん」と呼ぶこともある。つい数10年前までは、暮らしのすぐ側にあったそのコメ専門の小売店を、近ごろはとんと見かけなくなった。松山市内でもピーク時１８０軒の店が、いま30軒余りにまで減ったという。

「家庭でのコメの消費が少なくなったんやら、スーパーやネット通販で手軽に手に入るようになったんやらで、まあしょうがないですなぁ。お前とこはまだ頑張って、跡継ぎまで作って、と昔の同業者や友達には褒めてもらってはおりますが（笑）」。倉庫と作業場を兼ねた、飾り気のない店舗に腰かけて、菅能さんが65年のコメ商いを振り返る。

「菅能米穀店」。父親の茂さんが、出身の重信町の同級生たちと共同で立ち上げたのが始まり。戦後間もない食糧難の時代。配給制で、米穀通帳が必要な頃だった。ほどなくして茂さんの単独経営になり、「手伝いの好きな野球少年」だった菅能さんは、地元の雄新中卒業と同時に我が家に〝就職〟した。

「主食」を担って65年

１９５０年代半ばすぎ。「今みたいに、あきたこまちがええじゃの、コシヒカリがうまいじゃのは、言わんかった。腹が太ったらええという時代よ」。１斗あり１升あり、客の所望に従ってつきたてのコメを手渡した。なかには、２合だけ入れて下さいと羽釜を差し出す人もあった。

「それもありがたく大事なお客さんじゃった」。人々の暮らしの現実を見、商売のコツを覚えて、20代でもう２代目として先頭になって働いた。

始まりの頃は、好きな野球が商売を助けた。草野球仲間だった大街道の中華料理店主が、次々と同業者や食堂を紹介してくれた。マチの米屋の得意先はまだ一般家庭が主だった。

「これは大きかった。新販路開拓で、お前やり手じゃのうと羨ましがられたりした。何のことはない、きっかけは野球のおかげじゃけどね（笑）」

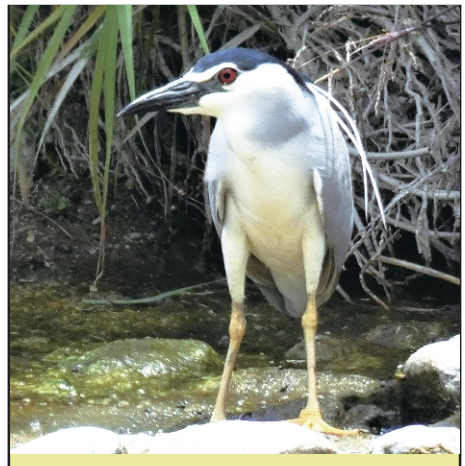
だが、１９８２年にコメの小売は配給制から許可制に。続いて１９９５年には食管法に代わる食糧法の施行で登録制へと変わり、スーパーやコンビニなど多様な小売り業者が参入することになった。以後、街の米穀店の経営環境は一変した。

ここで「まだ馬力があるうちに、米屋の原点に戻って、新鮮・安全で、うまいコメを」と、菅能さんが決断したのが、最新鋭の精米設備の導入。金属片や小石など異物の「選別・処理機」や、コメの食味を計測する「味度メーター」も備えたセットの４機。四国の小売店では第１号といわれた。これが飲食店の間で評判になり、また業務用米の売り上げが伸びた。

「まあ、カタコトで仕事始めて、こまめに手広く、遍照金剛言いながら、何とかここまでやってきましたよ」。話の締め括りには、遍路の国の懐かしい方言も飛び出した。

店の経営は息子の誠二さん（45）に任せたが、今も30㌔の米袋なら担ぐことができる。菅能さんと二人三脚で、店の帳簿を預かってきた妻の弘子さん（75）もまだ現役。家族一丸、「もっとお米を」と願いながら、この先も家庭へ店へ、心を込めて届けてゆく。

（S）



鳥散歩【ゴイサギ】

「五位鷺」と書く。『平家物語』の中の、醍醐天皇から従順な鷺として五位の官位を与えられたという話が、その名の由来。留鳥。体長は50センチほど。夜行性で「グァッ、グァッ」と鳴くところから「夜ガラス」とも呼ばれる。日中は林で休み、夕方から川の堰や池の護岸など水辺で餌をとることが多い。石手川でも見かける。

（T）

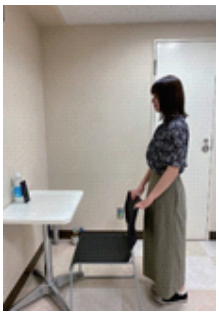
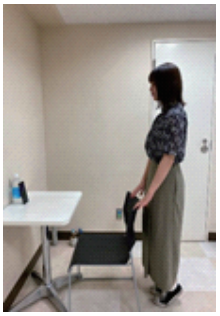
健康コラム

楽しく「ふくらはぎ」を鍛えるアプリの紹介

新型コロナウイルスが蔓延し始めてから１年以上が経過しましたが、外出自粛により身体活動量が減少したという人も多いのでは。例えばふくらはぎの筋肉は第２の心臓といわれており、筋力低下により転倒・骨折の危険性が増加するほか、心疾患の発症のリスクも高めるといわれます。ふくらはぎを鍛えるには、かかと上げ運動が効果的です。今回は、自宅で気軽にそして楽しくかかと上げ運動を行えるスマートフォン用のアプリ「フラワーガーデン」を紹介します。

このアプリはかかと上げ運動を行うことで、日常生活に必要なふくらはぎの筋肉を増やすことが目的です。

また、他のアプリとは変わった特徴があります。それはかかとを上げ下げするとスマホの画面上に花が咲きます。そのため運動中でも楽しく取り組めます。またアプリにはランキング機能が付いています。他のユーザーと競い合い、切磋琢磨しながら自分の限界に挑戦してはいかがでしょうか。

・スマホ画面に顔を認識させる。
・イスなどで体を支える。
・かかと上げは１秒に１回がベスト。







回数が増えると画面上の花が増えます。

愛媛大学社会共創学部
（執筆）青木建汰・君岡きらら・南名菜子（３回生）
（監修）山本直史

健康ライフ

夏風邪の原因と予防について

夏の２大ウイルス

アデノウイルス（プール熱） 屋外プールなどで広く感染するケースが多いことから俗にプール熱（咽頭結膜熱）と呼ばれる症状を引き起こすウイルスです。

エンテロウイルス 夏風邪はお腹にくるといわれているのは、このエンテロウイルスが腸で急速に増加するためです。

免疫力アップで予防

バランスの摂れた食生活を

免疫力を高める食材



しいたけ、まいたけなどのきのこ類	腸内環境を整え、免疫力をアップ（β-グルカン）
にんじん、かぼちゃ、ブロッコリーなどの緑黄色野菜	強力な抗酸化作用を持ち、活性酸素を除去する働き（β-カロテン）
大豆や高麗人参など	抗酸化作用や亢進作用、血行促進などの効能があり、身体を温め冷えを解消する効果（サポニン）
牡蠣、パルメザンチーズ、煮干しなど	免疫細胞の活性化させる作用（亜鉛）
昆布やメカブなどネバネバした海藻など	抗アレルギー効果があり、免疫細胞を活性化する作用（フコイダン）
ヨーグルト、納豆、味噌など発酵食品	腸内環境を整えながら免疫力をアップさせる効果（乳酸菌）

免疫力アップには、ウォーキングやストレッチなどの適度な運動をすること、質の良い睡眠をとることも大切です。

ぶらり松山散歩
～国道196号潮見地区～

6月のある日、ハトマート山越店から出発。ここは昔ボウリング場だったと思う。そういえば市内各所にも元ボウリング場、今はスーパーというのもあったなと思い眺めていた。あの大きなピンはどこにいったのだろう。

ハトマートから愛媛自動車学校まで散歩しているとその北側に史跡「七曲り街道」の碑を見つけた（写真①）。幅6メートル高さ3メートルの土手で、北からの侵入を防ぐ松山城の軍事拠点の一つだといわれている。しかし現在は碑の周辺にほんの数十メートルしか残っていないという。散策してみたがよくわからなかった。

さらに北に進むと蓮華寺の東側に「伊能忠敬休息の地」という碑をみつけた（写真②）。

日本地図を作ったあの伊能忠敬がこの谷村（現・谷町）に来ていたとは。改めて当時の日本地図をみると、今の地図とあまり変わらない。歩いて回っての測量技術、素晴らしいものだったのだろう。そして今僕も同じ道を歩いている。



①



②



③



④

さらに平田町まで裏道散歩。北条バイパス越えて進むと平田公民館前の地図に、砲台跡と競馬場があったと書いてある（写真③）。

三津に競馬場があったと聞いてはいるが、ここにも競馬場？看板を設置した潮見地区まちづくり協議会で聞いてみた。すると平田町にある喫茶店店主が詳しいというので訪問。妙見寺裏山に平らな土地があり、江戸末期そこに砲台を作ろうとしたようだが、土台を作っただけで取りやめとなったという。そこで農閑期に馬と共に苦労を慰めるため農耕馬等で地元娯楽用競馬場を作ったという。楽しみだったのだろう。今は墓地となっており、看板があるだけ（写真④）、その面影はない。松山といえば熟田津論争。そこに平田説もある。西暦660年斎明天皇が朝鮮百済王朝再興で遠征途中熟田津に上陸、1か月以上道後で滞在したという話である。

結局百済遠征は新羅・唐の連合軍に大敗、撤退となった。

戦前教育では日本は外敵に負けたことがない、いざとなれば神風が吹くと国民に暗示をかけたようだが、1300年前にすでに惨敗していたことを歴史は証明している。なお北条バイパス工事中、七反地遺跡で船材がみつかっている。海岸線が平田まで来ていた証明かも。

熟田津は様々な説があるが、大川や宮前川もあり、平田地区説や三津地区説も有力かもしれない。しかし論争は続き結論はでていない。歩いているといろいろなことを気づかせてくれた。楽しい散歩になった。（K・K）

参考文献：平田のむかし　平田歴史文化の会

こちら事務局

デジタルスポット「DX-Silver」をまつちかタウンにオープンします。

株式会社愛媛ＣＡＴＶの出張ブース移転オープンに伴い、事業の連携を行ってきた経緯から店舗の一部を当センターの専用ブースとして使用できることになりました。

センターでは、昨年度、「デジタル活用支援員推進事業 地域実証事業」を実施し、シニア層へのスマホの使い方指導などに取り組んできました。

現在、社会全体のデジタル化が進められるなか、デジタル技術を使いこなせる方々、そうではない方々のデジタル・デバイド（情報格差）の解消が重要な政策課題となっています。

こうした課題に対応するため「誰ひとり取り残さない、人に優しいデジタル化」を目標に、デジタル活用に不安のある高齢者等の解消に向け、センターでは、地域の実情やニーズに応じて、より身近な場所で支援できる「デジタル支援」拠点を目指しています。

「ＤＸ-Ｓｉｌｖｅｒ」では、シニアの方々がスマホやタブレットの使い方を気軽に相談、マイナポイントの付与やＷＥＢでの会員登録を行うなどのサービスを提供します。皆さん、ぜひ一度、足を運んでみてください。

【ＤＸ-Ｓｉｌｖｅｒ】

●開　設　日　令和３年７月15日（木）～

●開設時間　12時～19時まで

●サービス内容

①スマホ、タブレットの使い方がわからないシニア等の方々への使い方の指導

②マイナポイントの利用を支援、マイナポイント付与機器を設置

※令和３年４月末までにマイナンバーカード申請を行った方を対象

（設置期間 令和３年７月15日～９月30日）

③シルバーへのＷＥＢ入会登録の受付

（シルバーＧＯタブレットを設置予定）

【おくやみ】

この１年間に亡くなられた会員の方々のご逝去を悼み、ご冥福をお祈りいたします。

森瀬栄一郎
福岡信義
島作智司
深川ノブ子
新田通夫
日ノ岡良幸
池田秀昭
宮田哲明
梅本マス子
木浦清孝



編集後記



コロナ感染警戒期が続くなか、総会を終え、令和３年度のセンター事業がスタートしています。

コロナ禍での不自由かつ不条理な体験は、豊かさと便利さになれた現代人に多くの警鐘をならすとともに、私たちは〝今〟だけを生きているわけではなく〝明日〟に向かって歩いているということを、それも一人ではなく多くの人々とともに共存しているということを実感させてくれました。

根拠は定かではありませんが、人が一生に出会う人は３万人ともいわれます。一方、高齢期最終に訪れるフレイル期の最大の予防策は〝人とのつながり〟とか。センターでの活動は有償・無償の就労を通じて多くの人と交わり、それぞれの〝明日〟を示してくれます。

会報１０３号をお手元にお届けします。今年度の会報表紙は会員活動のホットな一コマを掲載したいと考えています。皆さんの〝明日〟につながるきっかけになるような記事づくりを進めたいと思いますので、楽しみにされてください。

また〝こんな記事を載せてほしい〟〝こんなことを知りたい〟〝投稿したい〟など、ご意見等々お寄せください。

（Ｄ）